

あぶた福祉会

第24回

あぶた福祉会 の商品紹介

デイセンターあすなる

緑化事業班

緑 化事業班では、洞爺湖町の花いっぱい運動における事業を委託業務として、利用者と職員の16名で、春と夏に8万本の花壇花を栽培しています。



花壇花の栽培を行うあすなるの皆さん

この花を町内の自治会や団体に配り、町民の方と一緒に環境美化に取り組んでいます。また、町内の公共施設にはプ

ランターを配置し、駅前や国道などの花壇作りも担っています。そのほか4月から7月にかけて道の駅「あぶた」、「洞爺湖」で販売しています。4月の中旬頃にパンジー、ピオラを14色以上、5月中旬はサルビア、ベコニアなど10種類20色以上の花をまた今年からマーガレットやダイアンサスなどの鉢花の種類を増やして、販売内容を広げています。

(M・K)

製パン事業班

製 パン事業班では、天然酵母を使用した手作りパン、マフィンの製造を行っています。手作りパンは自家製天然酵母(ルヴァン)と道産小麦を使用したこだわりの味。しっかりと歯ごたえがパン好きの方にはとても好評です。

1番人気は「メロンパン」で、美味しさ、大きさともに満足。「世界一おいしいメロンパン」と言う常連客もいるほどです。他にも洞爺湖町の大福豆を使



天然酵母の手作りパン

った「大福豆あんぱん」や町内の春雨を使用した「豚はるさめパン」が人気です。

喫茶「あるそーれ」と移動販売で販売中。店内ではイタリアのエスプレッソコーヒーを飲みながら焼きたてのパンを食べることもできます。

清水友愛の里

清 水友愛の里の日中活動班作業グループは、原木椎茸を栽培しています。14名の利用者が寒い2月中旬頃から、原木に椎茸菌を植え始め、4月頃からホダ木に浸け、水から揚げることを繰り返し、椎茸が発生するのを待ちます。



椎茸の芽が出たホダ木を移動する作業

今年は6月半ばまで寒い日が続き、椎茸の発生が遅れましたが、6月中旬頃から夏日のような暑さになったことで、ホダ木

のあちらこちらから椎茸の芽が顔を出し、一安心したところでしたが、暑さは続かず、夜間と日中の気温差も厳しいことから、7月に入るとまた、椎茸は姿を見せなくなつてしまいました。今年には本州の気候に近いため、本州式椎茸栽培の方法に切り替えることも考えながら、

試行錯誤していきたくと考えています。早く肉厚の美味しい椎茸を食卓にお届けできるように椎茸を重ねていきたいと思えます。

北 海道洞爺湖サミットでも取り上げられた環境問題です

が、いちばんぼしでは身近な「エコ」として、買い物の際にレジ袋の代わりにお使いいただける新聞紙を使ったエコバッグの製作を行っています。



新聞紙で作ったエコバッグ

持ち寄られた新聞紙を、利用者が役割を分担して、無駄のないように採寸、切り出し、持ち手・本体をそれぞれ折り、糊付けや取り付けを行い、仕上げして完成させます。

現在「道の駅あぶた」にて、イベントの際にご利用いただいております。地球の環境問題にささやかでも貢献できればと願っています。機会がございましたら是非、お手に取ってみてください。